

「再造林の低コスト化」の進捗状況

森林整備課

○令和6年度末の進捗状況

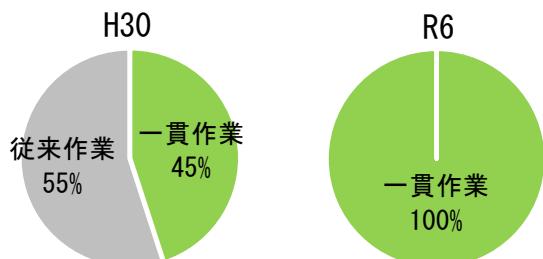
- (1) 県全体の再造林コストは平成30年度に比べ11.4%低減
- (2) 植林から伐採までの1サイクルの生産コストは平成30年度に比べ11.5%低減

○主な取り組み

- (1) 一貫作業の実施割合 ・・・ 100%

・一貫作業による再造林等の低コスト化等を推進するための「伐採者と造林者の連携による伐採と再造林等のガイドライン」に基づく協定締結 R6：1件（累計56件）

■一貫作業の実施割合

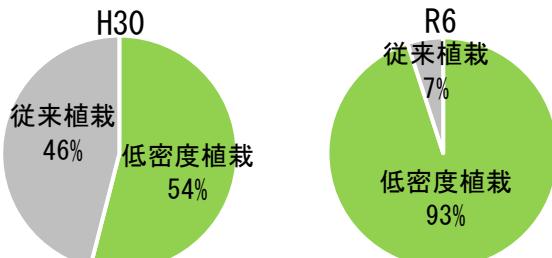


伐採・再造林の打合せ 一貫作業(機械地拵え)

- (2) 低密度植栽の実施割合 ・・・ 93%

・低密度植栽の実績が少ない地区で、造林者と森林所有者の打合せに同席し低密度植栽による森林整備のコスト低減効果等の説明をおこない低密度植栽の働きかけを実施

■低密度植栽の実施割合



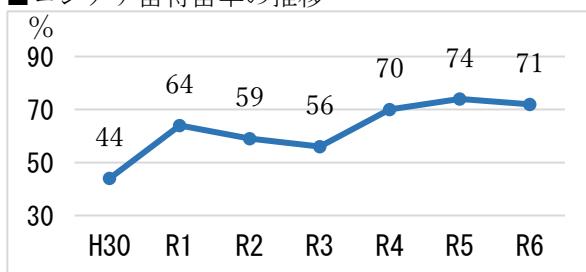
低密度植栽の指導状況

コンテナ苗

- (3) コンテナ苗 ・・・ 得苗率71%

・コンテナ苗の生産本数 約83万本
・苗木生産者34名が参画する「しまねコンテナ苗生産振興会」の育苗技術講習会を開催
・生産規模拡大等に意欲的な生産者5名に対して、コンテナ苗育苗に必要な育苗棚、散水施設等生産施設の導入を支援

■コンテナ苗得苗率の推移



育苗技術講習会

生産者への指導状況